

## 21世紀構想懇談会（第二回）報告

国際大学学長 北岡伸一

2015年3月13日

20世紀の世界と日本の歩みをどう考えるか。私たちが20世紀の経験から汲むべき教訓は何か。

### 1、植民地化と脱植民地化

#### (1) 弱肉強食の世界化

1840年、アヘン戦争

1895年、日清戦争、台湾領有

1898年、アメリカ、フィリピンを領有

1898年、ドイツ、膠州湾を租借、山東省を勢力圏に

#### (2) 脱植民地化の動き

日露戦争の与えたインパクト

第一次世界大戦、民族自決、五四運動、三一運動

### 2、戦争違法化の動き

仲裁裁判

国際連盟、不戦条約（1928年）

### 3、第一次大戦から第二次大戦へ

#### (1) 相対的安定の条件

これ以上の植民地化はしないが、既存の植民地は認める

モデルとしてのアメリカ

経済的発展主義

条件としてのアメリカの繁栄

#### (2) 相対的安定の崩壊

反帝国主義運動の過激化（ソ連の影響力 etc.）

ソ連の軍事強国としての復活

大恐慌とブロック化

モデルとしての全体主義

アウタルキーの思想と軍事的発展主義

### (3) 評価

世界の大勢を見失った無謀な戦争で、アジアを中心に多く犠牲者を出した。  
多くの日本の兵士と国民に犠牲を強いた。  
脱植民地の大勢を把握できず、植民地統治は過酷化  
30年代以後の日本の政府・軍の指導者の責任は極めて大きい。  
アジア解放のための戦争というのは、事実でない。

### 4、なぜ日本は軍事的発展主義への道をたどったか

領土的膨張の欲求：資源、市場、戦略、人口、国家の栄光  
首相の地位の弱さ、軍の独立性  
言論の自由の欠如（とくに日中戦争拡大以降）  
日本の軍部の独善性  
国際的制裁システムの弱さ

### 5、戦後の安定と繁栄の条件

武力による国際紛争解決の禁止（国連憲章、憲法9条1項）  
自由な貿易システムの発展  
前述の五条件の根本的転換  
領土拡大に関心なし。繁栄は通商による。  
議院内閣制による首相の強力な権限  
十分な言論の自由  
国際協調システムの強化

### 6、今後の課題

自由な国際システムをいかに維持するか  
一国平和主義では不可能  
日本はより大きな役割を果たすべき  
日本の防衛力の強化  
国際公共財としての日米同盟  
国際安全保障への積極的な参加  
外交的イニシアティブの強化  
経済でも、より積極的な国際化が必要